

社会資本総合整備計画
都市再生整備計画 事後評価シート
岡本駅周辺地区

平成26年5月

栃木県宇都宮市

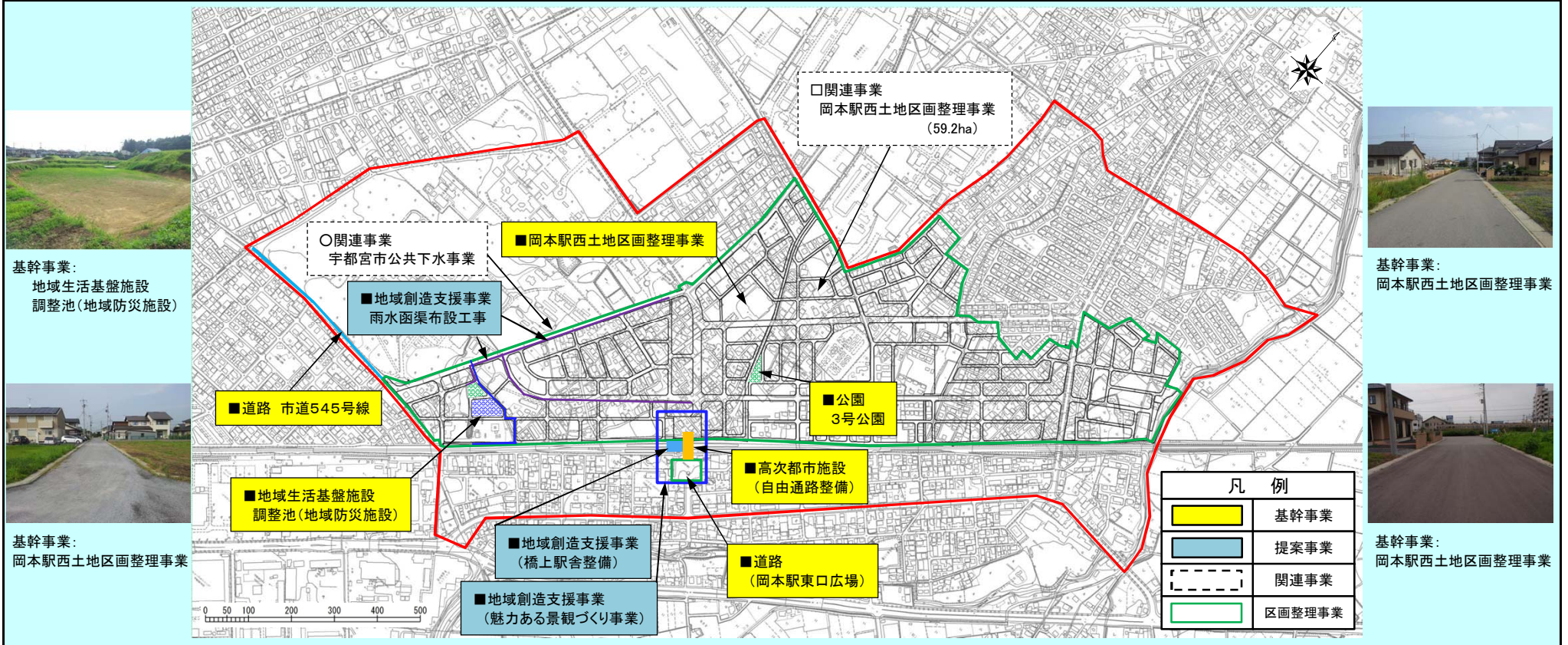
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	栃木県	市町村名	宇都宮市	地区名	岡本駅周辺地区			面積	158ha		
交付期間	平成21年度～25年度	事後評価実施時期	平成25年度	交付対象事業費	4,818.6百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名								
	基幹事業	・公園(岡本駅西地区3号公園)・地域生活基盤施設(調整池)・土地区画整理事業(岡本駅西地区)									
	提案事業	・地域創造支援事業[雨水管渠](岡本駅西地区)									
			事業名	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし								
新たに追加した事業	基幹事業	道路(市道545号線、岡本駅東口広場) 高次都市施設(自由通路)	市道545号線:安全性、利便性を備えた拡幅整備を行うため 自由通路、岡本駅東口広場:駅機能の強化を図るため			市道545号線:影響なし 自由通路、岡本駅東口広場:目標1の文言を修正。					
	提案事業	地域創造支援事業[JR岡本駅橋上駅舎整備](橋上駅舎整備) 地域創造支援事業[魅力ある景観づくり事業](岡本駅周辺)	駅機能の強化や交通の利便性向上を図るため			目標1の文言を修正。					
交付期間の変更	当初	平成21年度～25年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
	変更	平成 年度～ 年度									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	指標1	地区人口	人	1,393	H20	1,448	H25	●	あり	大型住宅の閉鎖などに加え、土地区画整理事業の進捗により、アパート・貸家等の解体などで一時的な地区外転居が発生し人口が減少した。	平成26年5月1日
	指標2	消防困難地域の解消	ha	16.80	H20	9.40	H25	○	あり	土地区画整理事業の進捗により、駅前道路等の主要道路を中心に道路整備が進んだことで、消防困難地域が解消された。	平成26年5月1日
指標3	水害の防止(溢水)	回/年	10	H20	6	H25	○	あり	土地区画整理事業の進捗により、暫定の調整池が整備され、排水状況が改善し、溢水被害の抑制が図られた。	なし	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
その他の数値指標1	旧耐震基準建物の減少	戸	564	H20	/	403	/	/	土地区画整理事業の中で、建物の再築が行なわれ、災害に強いまちづくりが構築されている。	平成26年5月1日	
その他の数値指標2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
4)定性的な効果発現状況	・土地区画整理事業の道路整備により、消防困難地域が解消されつつあると共に、車や歩行者が安全に通行ができるなど、安心安全な住環境のまちづくりが形成されている。										
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング	事業の進捗及び目標達成状況の確認・評価の実施		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今回の事後評価の結果を踏まえ、今後の効果的なまちづくり方を検討する。			
	住民参加プロセス	ワークショップによる街区公園整備計画の策定		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 公園整備の際にワークショップを行い、それをきっかけに地域住民に関心をもってもらい、公園愛護会活動への積極的な参加へつなげる。			
	持続的なまちづくり体制の構築	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							

様式2-2 地区の概要

岡本駅周辺地区(栃木県宇都宮市) 都市再生整備計画の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標 災害のない安心安全な住環境のまちづくり	地区人口	1,393 H20	1,448 H25	1,095 H25
目標1 総合的な面整備をすることで、計画的・効率的な土地利用を推進すると共に、良好な住環境の形成及び駅への交通結節機能の強化を図り、新規転入者の増加を図る。	消防困難地域の解消	16.80 H20	9.40 H25	9.40 H25
目標2 道路を整備することで、人々が日常的に利用する生活道路の安全性及び利便性を向上させ、暮らしやすい住環境を確保する。	水害の防止(溢水)	10 H20	6 H25	0 H25
目標3 水害のない安心安全なまちづくりをする。				



基幹事業:
地域生活基盤施設
調整池(地域防災施設)



基幹事業:
岡本駅西土地区画整理事業



基幹事業:
岡本駅西土地区画整理事業



基幹事業:
岡本駅西土地区画整理事業

まちの課題の変化

- ・土地区画整理事業の進捗により、アパート・貸家等の解体などで一時的な地区外転居が発生し人口が減少している。
- ・土地区画整理事業により、狭隘道路や行き止まり道路の解消が進み、暮らしやすい道路整備が推進されている。
- ・土地区画整理事業の進捗により、暫定の調整池が整備され、排水状況が改善し、溢水被害の抑制が図られている。
- ・公園が未整備であるため、防災空間及び憩いの場としての機能確保が求められている。
- ・土地区画整理事業により、公共施設へのJR岡本駅からのアクセス道路及び公共施設周辺道路が整備され、安心安全な道路整備が推進されている。
- ・地域交流拠点に相応しい駅関連施設の整備が求められている。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・引続き土地区画整理事業を推進することにより、早期に安心・安全な住環境を形成することで地区人口を増加させていく。
- ・土地区画整理事業により、狭隘道路等の解消を進めることで、消防困難地域を解消するとともに、歩行者や車が安全に通行できる道路を整備する。
- ・公園の整備を行い、防災空間及び憩いの場を設けることにより、地域にとって安全かつ快適性に優れたまちづくりを進める。
- ・土地区画整理事業により、公共施設へのJR岡本駅からのアクセス道路及び公共施設周辺道路を整備することで安全性及び利便性を備えた歩行者ネットワークを形成する。
- ・JR岡本駅橋上駅舎、東西自由通路、東口・西口駅前広場などの駅関連施設整備により、交通結節機能の強化を図り、駅東西の連携を確保し周辺施設へのアクセス性を向上する。